

政治思想学会2007年度 第14回研究会プログラム

期日：2007年5月26日（土）、27日（日）

会場：明治学院大学白金キャンパス 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

統一テーマ：「国家を再考する」

5月26日（土）

受付：9：15～（2号館エントランス）

* 学会費納入は会場では受け付けません。

* 懇親会にご出席の方は、受け付けの際に参加費6,000円（大学院生5,000円）をお支払い下さい。（なるべく釣銭のないようにご協力いただければ幸いです。）

研究会1 「ティラニーについて」（10：00—12：30 2号館2階#2301）

司会：川出良枝（東京大学）

報告者：名和賢美（高崎経済大学）：「古代ギリシアにおける僭主政概念の成り立ち——単独統治用語の文献学的分析」

森川輝一（名城大学）：「暴君無き暴政」について——アーレント全体主義論の再検討」

討論者：石崎嘉彦（摂南大学）

昼食休憩（12：30—14：00）

理事会（12：30—14：00 本館8階 法律科学研究所会議室）

研究会2 「主権国家と帝国」（14：00—17：20 2号館2階#2301）

司会：柴田平三郎（獨協大学）

報告者：厚見恵一郎（早稲田大学）：「君主の地位と統治理性——マキアヴェッリstato論の「文脈」再考」

平野聡（東京大学）：「天下」と主権——儒学者の模索と近現代国家・中国」

太田義器（摂南大学）：「主権・正義・戦争——グロティウスの国家論」

討論者：木村俊道（九州大学）

総会（17：30—18：00 2号館2階#2301）

懇親会（18：10—20：00 パレットゾーン白金2階・インナー広場「さん・サン」）

5月27日(日)

研究会3：自由論題 (9:30—12:30)

分科会A(2号館地下1階#2101)

司会：柳父圀近(東北大学)

報告者：今野元(愛知県立大学)「教皇ベネディクトゥス16世の政治思想」

谷本純一(法政大学)「知識人と「エリート」その差異と関連性」

植木献(明治学院大学)「平和主義とキリスト教現実主義 ラインホルト・ニーバーにおける非暴力と暴力の可能性と限界」

分科会B(2号館地下1階#2102)

司会：米原謙(大阪大学)

報告者：崔先鎬(法政大学)「戦後復興期の知識人における「プラグマティズム」認識」

山下孝子(慶応義塾大学大学院)「承認の政治と近代的主体の困難」

山辺春彦(首都大学東京)「陸羯南の「進歩主義」批判と立憲政論」

分科会C(2号館2階#2302)

司会：宇野重規(東京大学)

報告者：梅田百合香(金城学院大学)「ホッブズと軍事力 ホッブズにおける軍隊、国防、対外戦争について」

金慧(早稲田大学大学院)「構想力／想像力の政治的機能について カントとアーレントの判断力論に即して」

高山裕二(早稲田大学大学院)「トクヴィルとラムネ」

昼食休憩(12:30—13:30)

理事会(12:30—13:30 本館8階法律科学研究所会議室)

総会(13:30—14:00 2号館2階#2301)

研究会4 「国家と社会」 (14:00—17:20 2号館2階#2301)

司会：飯田泰三(法政大学)

報告者：中金聡(国士舘大学)：「オークショットの〈偶然性〉の政治哲学」

畠山弘文(明治学院大学)：「動員国家論——政治学は国家を説明できるのか」

梅森直之(早稲田大学)：「日本社会主義思想再考——日常性の視座から」

討論者：安武真隆(関西大学)